

農業の事例

事業名【都道府県】

町名の由来「マコモタケ」による耕作放棄地の再生に関する調査研究事業【三重県】

協議会名・参加団体名

マコモでこものまちおこし協議会

菰野町、(社)三重県建設業協会、三重四日市農業協同組合



事業の背景

菰野町におけるマコモタケの特産品化においては、生産規模の拡大と知名度の向上、高付加価値商品開発の開発および販路開拓が課題となっている。

事業の概要

○耕作放棄地の開拓とマコモの作付

・町内千草地区(大正田)において耕作放棄地を開拓し、マコモを作付

・早生(9月収穫)の育成研究

○マコモタケの商品化と販路開拓

・粉末を使った土産物(漬物、パン・クッキー)の開発

・付加価値の高い「医食同源の食物」の開発

・湯の山温泉の旅館やホテルへの販売促進

期待される効果

- ・遊休農地等復元技術習得による建設業従業者の雇用
- ・マコモタケの生産量の拡大
- ・加工品の開発・流通による知名度の向上

今後の建設業のビジネス展開

- ・遊休農地再生を業とする収益事業
- ・マコモタケの生産・加工・販売事業

雇用の状況

・雇用者(従事者数):17名(平均雇用者数8.2人/月)

147人(延べ人数)

平均雇用者数 = 平成21年8月から平成23年1月(18ヶ月)
= 8.2人/月

事業の課題

- ・商品開発と販路の確保
- ・観光との連携
- ・農商工との連携など

【連絡先】(社)三重県建設業協会 担当:大井
Tel.059-224-4116

マコモ商品 ご案内

マコモタケは9月下旬から11月まで収穫され、食材として料亭や中華料理店などで利用されています。菰野町では収穫期以外でもこのマコモタケやマコモの若葉粉末を使って、いろいろな商品を作り、年間を通してみなさまにご賞味いただいています。

マコモタケ粉末
マコモ若葉粉末入り

■めん



マコモ若葉粉末入り
■ロールケーキ

マコモタケ粉末
マコモ若葉粉末入り
■ちんころ



マコモタケ粉末
マコモ若葉粉末入り

■ビスコッティ



マコモ若葉粉末入り
■ワッフル

マコモ若葉粉末入り

■ヨーグルト



マコモタケ
マコモ若葉粉末入り
■ウィンナー

マコモタケ粉末
マコモ若葉粉末入り

■アイスクリーム



マコモタケ粉末入り
■かりんとう

事業名【都道府県】

「亀山茶」ブランドづくりに関する調査研究事業 【三重県】

協議会名・参加団体名

亀山茶ブランド化推進協議会

亀山市、(社)三重県建設業協会、(社)三重県建設業協会亀山支部、
亀山商工会議所、亀山茶農業協同組合、亀山市茶業組合、



*写真はイメージ

事業の背景

亀山の茶業においては、生産者の減少と高齢化の進展により、生産量の拡大や品質・付加価値の向上が困難な状況になっている。

事業の概要

- 不耕作地・荒地を開拓と加工用茶の栽培
 - ・耕作放棄地(約1ha)の開拓
 - ・より早い時期の出荷を目指し収穫期の調節を試行
- 既存茶園における建設業の重機・労働力の活用
 - ・計画的な植替え作業支援
 - ・栽培・収穫作業支援
- 亀山茶の商品開発とテスト販売
 - ・ペットボトル化の研究と亀山宿・関宿におけるテスト販売
 - ・亀山茶を使用した商品の開発

事業の課題

- ・優良な茶葉生産のための新規就農者の発掘
- ・亀山茶の知名度の向上と販路の確保
- ・お茶の普及促進

期待される効果

- ・遊休農地等復元技術習得による建設業従業者の雇用
- ・亀山茶の生産量・販売量の拡大、ならびに品質の向上
- ・加工品の開発による亀山宿・関宿の観光事業との相乗効果

今後の建設業のビジネス展開

- ・遊休農地再生を業とする収益事業
- ・亀山茶の生産・加工・販売事業
- ・観光業と連携した街並み整備等の事業

雇用の状況

- ・雇用者(従事者数): 12人(平均雇用者数2人/月)

【連絡先】(社)三重県建設業協会 担当: 大井
Tel.059-224-4116

亀山茶使用のペットボトル茶

新発売

数量限定

ちやきちやき
振って飲みましょう



亀山茶

緑茶カテキン
のどごし涼しく

緑茶

初摘み新茶



飲んで健康

粉末茶で、茶の栄養素
を100%摂取できます。

良質な亀山茶の粉末とボトル
ウォーターが別々に入っています。
飲む直前に“混ぜ”入れて、よ
く振ってから本格緑茶をお召し上
がください。



無香料・無着色・無保存料

亀山茶ブランド化

推進協議会

商品に関するお問い合わせは、亀山茶農
業協同組合まで。＜Tel0595-82-1328＞